DRONE SPORTS

AIRS ONE®

PREMIER LEAGUE 2022

NO.1 DRONE NETWORK

NINJA WORKS®





NINJA WORKS

会社概要

update : 2022.01.23

WORKSTYLE DESIGN COMPANY

ニンジャワークステクノロジーズ株式会社

ニンジャワークス www.ninjaworks.pro

TO BE A HERO

NINJA GIG WORKERS®

第二の自分と出逢う



Ryo Tamada

プロドローンパイロット
玉田 龍

1. ニンジャワークステクノロジーズ株式会社

NO.1 DRONE NETWORK
NINJA WORKS®



保有機体　120機
パイロット数　180名
全国拠点数　72拠点

経営理念

ドローンと都会の若者が
日本の社会的課題を解決する。

経営方針

テスラ型のビジネスモデル（クラウドによる運用管理）と
ウーバー型のビジネスモデル（人材獲得）を
ドローン業界にニンジャモデルとして構築する。
1次産業におけるニンジャモデルの導入からスタートし、
他産業におけるドローン活用拡大を推し進め、
日本独自のビジネスモデルを世界に展開していく。

NINJA WORKS®

2. 事業概要

企業情報

本部

〒527-0136 滋賀県東近江市南菩提寺町572-2
TEL:0749-29-9082 / FAX:0749-45-2055
Mail:info@ninjaworks.pro

鮎河 CAMPUS

NINJA SWAT FIELD
(オペレーションセンター)
〒528-0202
滋賀県甲賀市土山町鮎河1201



赤倉 SANSO

NINJA SWAT FIELD
〒949-2112
新潟県妙高市池の平2436-4





代表者
楠亀 茂史

設立
2021年2月1日

資本金
6,250万円

ドローンを活用した社会的課題を解決する事業

1. ドローン教習業務
2. ドローン運用業務（GIG WORKERS事業 / SWAT事業）
3. ドローンメンテナンス業務

NINJA S.W.A.T.
SPECIAL WISDOM AND TOOL
特殊作業チーム

NINJA SWAT FIELD
プロパイロットのための特殊訓練施設

AGRICULTURE 農業
INSPECTION 検査
RESCUE 災害
SURVEY 測量

NINJA WORKS®

3. チームメンバー

代表取締役　楠亀 茂史 KUSUKAME SHIGEFUMI

1973年1月4日生まれ滋賀県出身。
FM局での勤務経験を経て、実家の農機具販売店(創業1955年)を2015年に引き継き、
ニンジャワークスを開始。
事業拡大のため2021年、ニンジャワークステクノロジーズ株式会社を設立。
全国26拠点にて事業をスタート。現在、全国72拠点にまで拡大。
宅地建物取引士、二級農業機械整備技能士、JAS認定有機農家。

取締役副社長　樋口 展生 HIGUCHI NOBUO

取締役専務　久野 敬史 KUNO KEISHI

税理士　元屋地 敦 MOTOYAJI ATSUSHI
（AOI中央税理士事務所）

公認会計士　監査法人 京立志 KYORISSHI

弁護士　西村 雄大 NISHIMURA TAKAHIRO
（梅田パートナーズ法律事務所）

顧問　岩永 峯一 IWANAGA MINEICHI

元農林水産大臣。小泉政権時の農林水産大臣でJA改革に従事する。

業務提携会社　株式会社 中京テレビサービス CHUKYO TV SERVICE
福井放送株式会社 FUKUI BROADCASTING CORPORATION

TV局のネットワークを活かした営業力とニンジャワークスの業務運営能力を合わせることで
スピード感のある全国展開のネットワークを構築することに成功する。

NINJA WORKS®

4. 事業モデル① ニンジャワークスの4つのビジネスモデル

MADE IN JAPAN
NINJA BUSINESS MODEL

「ドローンと都会の若者が日本の社会的課題を解決する」

をモットーに事業を開始し、1年で全国72拠点まで事業が拡大する。
日本社会の地方におけるニーズにマッチしたビジネスモデルが、ニンジャワークスの成長を支える。

NINJA WORKSの特徴



全国に広がったニンジャワークスの運用ネットワークをクラウドシステムが支える。



都会の若者、サラリーマンがGIG WORKERとして地方の社会的課題の解決（農林水産業の持続的な継続、発展）に寄与する。
都会でサラリーマンをしながら、プロのドローンパイロットとして活躍し課題解決を楽しみながら挑む。



1次産業をドローンの活用フィールドとして捉えて、コンテンツまで昇華させる。
ニンジャワークスのブランド力、ネットワークの拡大に寄与し、他者との差別化が図れる最大のポイント。



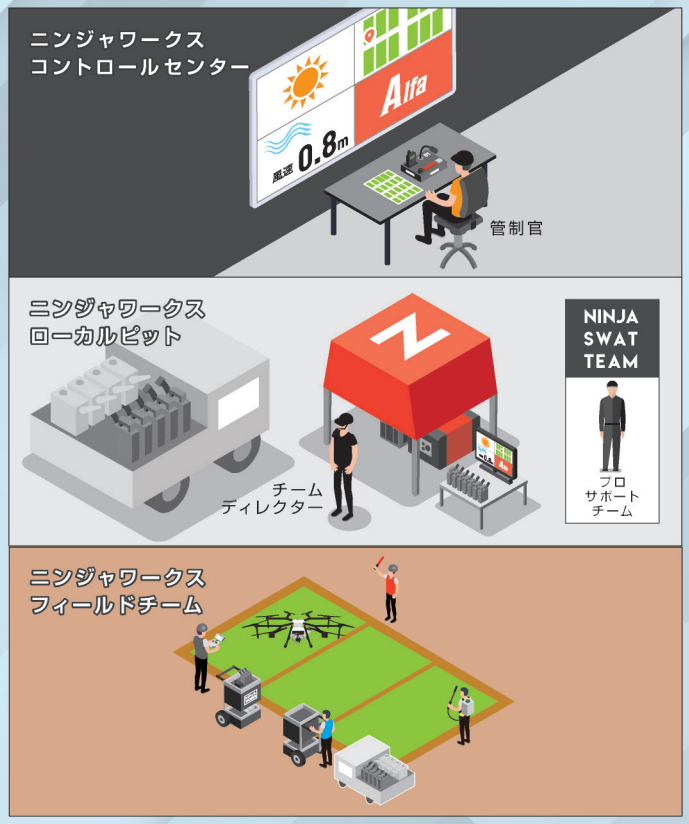
地方の廃校やスキー場などの施設を活かして都会の若者がアウトドア感覚でプロドローンパイロットの資格を取得し、日々訓練できる施設の運営を行う。

NINJA WORKS®

4. 事業モデル② ビジネスモデル詳細（CLOUD NINJA WORKS / NINJA GIG WORKSERS / AIRS ONE）

CLOUD NINJA WORKS

ドローンの運用に一番重要なバッテリー管理システム、
安全運行管理システムをクラウド化し、
本部のコントロールセンターで一括で現場を管理できるシステム。
全国に広がったニンジャワークスの運用ネットワークのシステムを支える。



NINJA GIG WORKERS

Q1 何故、NINJA GIG WORKERSに参加？

Q2 何故、DRONE SPORTS “AIRS ONE”が必要なのか？

持続型社会への経営方針



社会的課題の解決

A1 高収入のサラリーマンであればあるほど、アウトドア好きが多い。
ファッションセンスも高く、社会の課題に対する意識も高い。

A2 高感度なライフスタイルとしてNINJA WORKS、DRONE SPORTSに参加し、
新しい時代のワークスタイルを築く。

DRONE SPORTS “AIRS ONE”

DRONE SPORTS “AIRS ONE”は、
大企業のR&D予算と広告予算を確保すること、
未来の産業用ドローン請負業務拡大を目的とする。



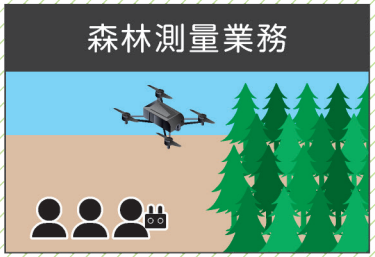
NINJA WORKS®

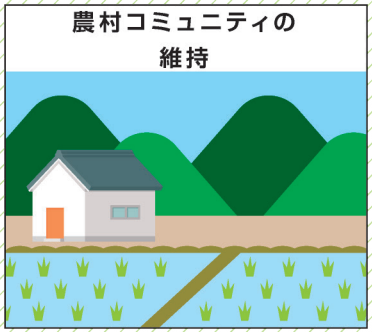
4. 事業モデル③ 事業で解決したい社会的課題

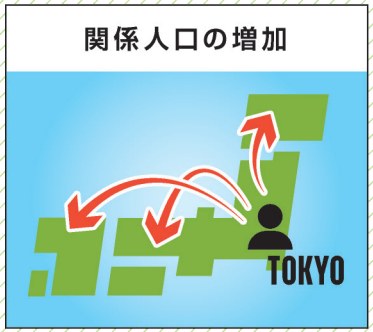
ドローンと都会の若者が 地方の社会的課題を解決します！！





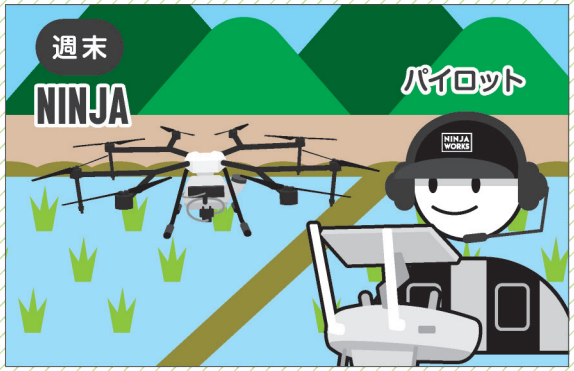












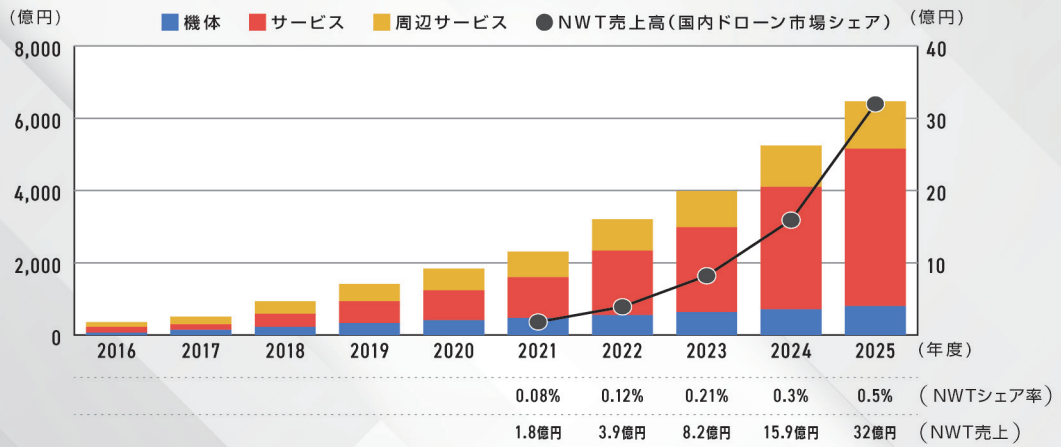




5. 市場環境・事業規模

国内のドローンビジネス市場規模の予測とNWTの売上げ予測

「国内のドローンビジネス市場規模の予測」出所：インプレス総合研究所作成



年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
周辺サービス（億円）	65	138	224	326	405	471	548	633	709	797
サービス（億円）	154	155	362	609	828	1,128	1,785	2,351	3,387	4,361
機体（億円）	134	210	346	475	607	706	867	1,000	1,150	1,310
合計（億円）	353	503	931	1,409	1,841	2,305	3,200	3,984	5,426	6,468
NWT売上（億円）	-	-	-	-	-	1.8	3.9	8.2	15.9	32
NWTシェア率（%）	-	-	-	-	-	0.08	0.12	0.21	0.3	0.5

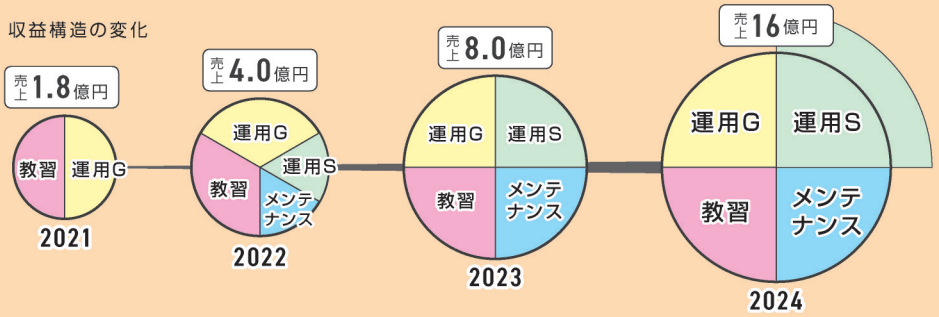
ドローンビジネスの市場規模は「機体」、「サービス」、「周辺サービス」の3つで構成される

※1. 周辺サービス市場は、バッテリー等の消耗品の販売額、定期メンテナンス費用、人材育成や任意保険等の市場規模。

※2. サービス市場は、ドローンを活用した業務の提供企業の売上額。ただし、ソリューションの一部分でのみドローンが活用される場合は、その部分のみの売上を推計。（公共団体や企業が自社保有のドローンを活用する場合は、外部企業に委託した場合を想定し推計。）

※3. 機体市場は、業務用（固定翼及び回転翼、ローバー型、ボート型、潜水艦型）の完成品機体の国内での販売金額。軍事用は含まない。

事業規模の拡大



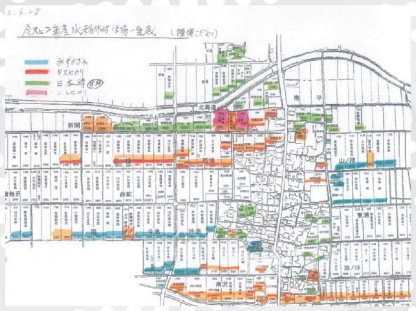
事業成長戦略

ドローン分野に特化したビジネスモデルを教習、運用、メンテナンス事業にセグメント化し、4つの事業ステップで事業拡大を目指す。

1. 農業分野でのドローン運用のポールポジションを確立
2. ドローン活用分野の事業の拡大に合わせた事業領域の拡大
3. ドローンスポーツ分野の開拓、拡大
4. ソーシャルメディアコンテンツとしてのドローンコンテンツの利用拡大

NINJA WORKS®

6. 防除写真①



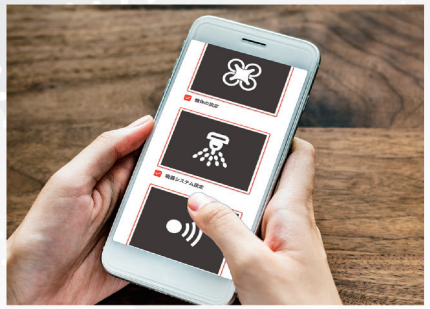




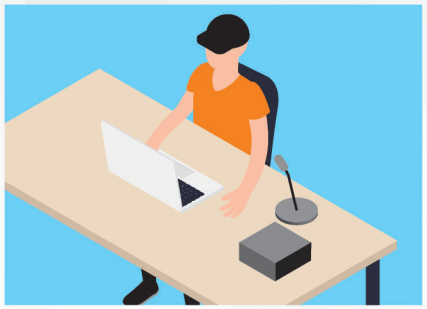










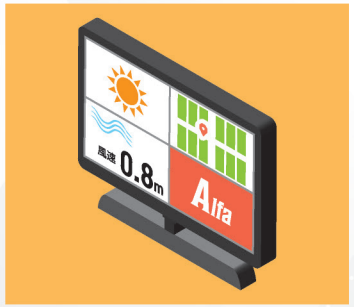




























NINJA WORKS®

6. 防除写真②

























